

第18回 宇宙開発戦略本部 議事概要

日時：平成30年12月11日（火）10：20～10：30

場所：官邸4階 大会議室

出席者：別紙のとおり

議事：

- (1) 宇宙基本計画工程表(平成30年度改訂)について
- (2) その他

議事概要：

- 冒頭、平井宇宙政策担当大臣から、資料1「宇宙基本計画の工程表改訂について」について説明が行われた。審議の結果、「宇宙基本計画工程表（平成30年度改訂）」を宇宙開発戦略本部として決定した。
- 出席者からの発言は以下のとおり。
 - ・ 河野大臣から、「安保の観点から宇宙の重要性は益々増加しております。外務省は、国際ルール形成の取組や諸外国との重層的な協力構築等に積極的に取り組んでおります。また、ASEANを中心に人材育成や機材整備等を実施してきております。本年度は、10月の日印首脳会談で宇宙対話の立ち上げに一致しました。また、11月の米副大統領の総理表敬時に日米間での宇宙協力の強化を確認しました。引き続き、外務省は関係省庁と緊密に協力し、宇宙分野で積極的に貢献して参ります。」といった発言があった。
 - ・ 世耕経済産業大臣から、「経済産業省では、準天頂衛星を活用した自動走行やドローンの実証事業を実施しているほか、政府衛星データの利活用を促進するためのプラットフォームを今年度中に運用開始するべく準備を進めております。また、有望なスタートアップとして選定したJ-Startup92社の中に含まれる宇宙関連企業6社について支援を行うとともに、JAXA(ジャクサ)等の宇宙分野の人材をスタートアップに紹介する仕組みを来年度に構築する予定です。これらを通じ、宇宙ビジネス創出を積極的に支援して参ります。」といった発言があった。
 - ・ 岩屋防衛大臣から、「防衛大綱の見直しや中期防の策定に当たっては、厳しい安全保障環境の現実に真正面から向き合った防衛体制を構築する方針です。その際、宇宙領域の活用の重要性をふまえ、宇宙領域における対処能力強化のための取組を含めて、検討しているところです。また、宇宙監視システムの整備についても、JAXAを含めた関係省庁との連携、同盟国等との

協力により着実に進めて参ります。」といった発言があった。

- ・ 石田総務大臣から、「総務省は関係府省と連携し、技術試験衛星9号機の着実な開発を進めるとともに、高精度な測位が可能な準天頂衛星システムの利活用促進に、引き続き取り組みます。また、宇宙活動の領域が拡大する中、人工衛星の運用等に障害を発生させる太陽活動の影響を観測・予測する「宇宙天気」について、来年度から、夜間・休日を含め24時間有人運用とする等、その充実・強化に努めて参ります。」といった発言があった。
- ・ 柴山文部科学大臣から、「文部科学省は、国際競争力を有する新型基幹ロケットとなるH3ロケットの開発を着実に進めます。また、安全保障や激甚化する災害への対応に貢献する先進光学衛星、先進レーダ衛星などの次世代衛星開発にも取り組みます。さらに、国際宇宙探査について、米国が構想する月近傍有人拠点や国際協力での月着陸探査活動に向けて、主体的に国際調整や技術実証などを推進します。」といった発言があった。
- ・ 城内環境副大臣から、「環境省は、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき2号」を、文部科学省と共同で開発し、今年10月に打ち上げました。これにより、パリ協定に基づき世界各国が実施する気候変動対策の透明性向上に貢献していきます。更に継続して観測するため、3号機の開発にも着手しているところです。」といった発言があった。
- ・ 高鳥農林水産副大臣から、「衛星データを用い、わずか数センチの誤差で、昼夜を問わず作業が可能となる農業機械の自動走行や、作物の生育診断技術には、大きな期待を寄せて研究開発を進めてきているところです。今後、世界トップレベルのスマート農業を実現するため、こうした先端技術を農業の現場で実際に導入し、経営分析等を行うことにより、社会実装を促進し、農業者の期待に応えてまいりたい。」といった発言があった。

○ 安倍内閣総理大臣より、以下のとおり指示があった。

- ・ 新たな工程表を踏まえ、特に以下3点に、重点的に取り組んでください。
- ・ 11月1日に準天頂衛星であるみちびきによる、世界初、センチメートル精度の測位サービスが始まり、宇宙を利用したサービス、ビジネスは、新たな時代に移ろうとしています。農業、物流など、これまで宇宙と関わりのなかった分野でも、革新的なビジネスが生まれる可能性があります。アイデアの掘り起こしや実証事業など、斬新な発想に基づく宇宙ベンチャー支援を積極的に進めてください。
- ・ 安全保障分野においても、各国が宇宙利用で、しのぎを削る時代となりました。我が国も、防衛大綱の見直しを進めており、防衛省を中心に、関係省庁

やJAXA（宇宙航空研究開発機構）とも連携して、その一層の強化に努めてください。

- ・ 「Society 5.0」社会を実現する上でも、宇宙利用は大きな可能性を秘めています。準天頂衛星を用いた自動運転、農機・建機の自動化による生産性の革新的な向上、衛星データを活用した新たなビジネスの創出など、一層積極的な宇宙利用を促す環境整備を進めてください。
- ・ 次なるフロンティアである月や火星などの国際宇宙探査についても、国際的な動きが活発となっています。米国が構想する月周辺の有人拠点 Gateway への参画について、我が国が強い分野で積極的な貢献ができるよう、関係国との調整を推進してください。
- ・ 今回改訂した、新たな宇宙基本計画・工程表の着実な実施に向け、平井大臣を中心に、関係閣僚はしっかりと連携して、取り組んでください。

（議了）

(別 紙)

出席者一覧

安倍 晋三	内閣総理大臣
麻生 太郎	副総理
	財務大臣
	内閣府特命担当大臣 (金融)
	デフレ脱却担当
菅 義偉	内閣官房長官
	沖縄基地負担軽減担当
平井 卓也	一億総活躍担当
	情報通信技術 (I T) 政策担当
	内閣府特命担当大臣 (少子化対策 クールジャパン戦略 知的財産戦略 科学技術政策 宇宙政策)
石田 真敏	総務大臣
	内閣府特命担当大臣 (マイナンバー制度)
山下 貴司	法務大臣
河野 太郎	外務大臣
柴山 昌彦	文部科学大臣
	教育再生担当
世耕 弘成	経済産業大臣
	産業競争力担当
	ロシア経済分野協力担当
	原子力経済被害担当
	内閣府特命担当大臣 (原子力損害賠償・廃炉等支援機構)
石井 啓一	国土交通大臣
	水循環政策担当

岩屋	毅	防衛大臣
渡辺	博道	復興大臣
		福島原発事故再生総括担当
山本	順三	国家公安委員会委員長
		国土強靱化担当
		内閣府特命担当大臣 (防災)
宮腰	光寛	一億総活躍担当
		行政改革担当
		国家公務員制度担当
		領土問題担当
		内閣府特命担当大臣 (沖縄及び北方対策 消費者及び食品安全 少子化対策 海洋政策)
茂木	敏充	経済再生担当
		全世代型社会保障改革担当
		内閣府特命担当大臣 (経済財政政策)
片山	さつき	内閣府特命担当大臣 (地方創生 規制改革 男女共同参画) 女性活躍担当
		まち・ひと・しごと創生担当
櫻田	義孝	東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック 競技大会担当
西村	康稔	内閣官房副長官 (衆・政務)
野上	浩太郎	内閣官房副長官 (参・政務)
高鳥	修一	農林水産副大臣
城内	実	環境副大臣
新谷	正義	厚生労働大臣政務官
杉田	和博	内閣官房副長官 (事務)

和泉	洋人	内閣総理大臣補佐官 （国土強靱化及び復興等の社会資本整備、地方創生、健康・医療に関する成長戦略並びに科学技術イノベーション政策担当）
古谷	一之	内閣官房副長官補（内政）
兼原	信克	内閣官房副長官補（外政）
木山	繁	内閣官房参与
河内	隆	内閣府事務次官
高田	修三	内閣府宇宙開発戦略推進事務局長